

令和5年第11回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和5年11月15日（水）午後1時30分～午後2時20分

2 開催場所 第3委員会室

3 出席者

【教育長】 水田 博和

【委員】 向 文緒

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 河合 香吏

【事務局】 教育部長

文化スポーツ部長

教育総務課長

同 課長補佐

同 主任

学校教育課長

同 主幹

同 指導主事

同 課長補佐

学校給食課長

文化財課長

野外教育センター所長

同 主幹

文化・生涯学習課長

スポーツ課長

図書館長

食育推進給食会企画経営課長

西野 正康

大橋 弘明

中山 一徳

田之上 愛子

倉知 美香

大城 達也

加藤 喜英

梶田 英男

梶原 和行

加藤 純也

村松 一秀

生倉 勉

坂野 年伸

田中 芳樹

林 一元

四ツ倉 光一

長江 泰典

4 議題

(1) 議案に対する意見について

(2) 令和5年度全国学力・学習状況調査における春日井市全体の結果について

5 議事概要

教育長	本日の傍聴者は1名です。
教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、向委員を指定。
教育長 (報告事項)	11月9日、愛知県はインフルエンザ警報を発令しました。2019年以来4年ぶりの警報であり、過去10年で1番早い時期での発令です。インフルエンザは、例年12月上旬から1月に始まり、1月から3月にかけて流行しますが、今シーズンは昨シーズンから継続して一定の患者が発生しています。市内の小中学校ではこのところ多くの学級閉鎖を行っています。感染力の強さを感じます。症状がある場合はマスクを着用するなど「咳エチケット」を心掛ける、外出後などには石鹸で手を洗う、十分な休養とバランスの取れた食事を心掛けるなどの予防。かかった場合は、早めに医療機関を受診し、休養を取るなどの治療に心掛けるよう指導していかなければなりません。なお、11月10日付けで、「インフルエンザの流行・感染拡大防止について」という通知を保護者向けに発出しました。 11月7日、出川小学校及び高森台中学校において、研究開発学校実地調査が行われ、文部科学省等から多数訪問していただきました。午前の出川小学校での授業見学、午後の高森台中学校での授業見学の後、研究開発の進捗状況の説明、研究開発に係る質疑を受けました。「(仮称)情報の時間」の教育課程作成にあたり、様々な指摘や助言をいただき、今後の研究の進め方の確認ができました。 10月14日から始まった地域クラブ活動ですが、特に大きな問題なく実施できています。生徒は希望した休日の部活動に参加し、練習に励んでいます。新設の女子サッカーでは、複数校の生徒が一緒に楽しむ姿がありました。1・2年生の7割ほどが登録・参加しています。 11月7日から始まった小学校の修学旅行は、今日現在、22校が実施し、18日までに10班に分かれて実施予定です。 小学校の野外学習は、37校中35校が実施し、今月中に残り2校が実施予定です。
教育長	1 議題 (1) 議案に対する意見について

教育総務課長	資料に基づき「議案に対する意見」について説明。
教育長	採決の結果、全員一致で「意見なし」と決定。
教育長	(2) 令和５年度全国学力・学習状況調査における春日井市全体の結果について
学校教育課主幹	資料に基づき「令和５年度全国学力・学習状況調査における春日井市全体の結果」について説明。
向委員	中学校３年生の英語で「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる」という部分が△になっており、やや課題があるようだ。英語がうまくなるには国語がしっかりできるということが大事だと思う。国語は、文章の構成や展開・表現の効果について根拠を明確にして考え、考えたことを述べたり文章にすることが重要で、第三者がそれを客観的に評価するのであれば、そこがやはり、春日井市の中学校３年生の課題だと思う。今後の指導のポイントには、漢字や伝統的言語文化のことは記載があるが、文章の構成や展開・表現については記載がない。指導のポイントがあるのか教えてほしい。 また、９ページの「学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連」の上から４行目に「授業でＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をよく使用したと回答している生徒ほど、教科の正答率が高くなっている」とあるが、どこの学校もＩＣＴ機器をよく活用している中で、よく使っていると認識している子ほど正答率が高く、よく使っていない子は成績が低いということかと思う。授業で活用しているのに活用していると思えていない子ども達を今後どのように指導していくかが課題になってくると思うが、その辺りの詳細分析や今後の方針を教えてほしい。
学校教育課主幹	中学校３年生の国語の指導ポイントについて、文章の構成・表現等の内容に表記を修正したいと考えている。古典の言語文化という部分についても課題があったので、表記については再度検討させていただきたい。

	I C T機器を週 3 回以上活用しているという部分については、全国平均を大きく上回っている。ただ、有効に感じているかという部分については、全国平均・県平均とほぼ同数程度になっている。I C T機器等が、学習において有効と感じているかという部分については、県・全国との差が小さくなっているところもあるので、研修等を通して、各校で児童・生徒が I C T機器を有効に活用して学習しているというような状況を広めていきたいと考えている。
向委員	有効に感じているかというのは、【学習の様子】の上から 2 番目の「学習の中で P C・タブレットなどの I C T機器を使うのは勉強の役に立つと思う」という部分のことか。
学校教育課主幹	そのとおりである。
竹田委員	中学校 3 年生と小学校 6 年生の調査結果を踏まえて、春日井市としては、概ね全国平均と比較したところ、それほど問題はないという認識でよいか。
学校教育課主幹	正答率で見ると、教育委員会としては、大きく心配な部分はないと思っている。ただ、総合的な学習等の部分で、図や表を用いて表し方を工夫することや、自分で調べてクラスみんなに伝える活動については、十分でないと思っているとの生徒からの回答もある。自分で調べて周りに分かりやすく伝えることは、子ども達が将来社会に出た時にも必要になってくるので、今後重視し、取り組んでいく必要があると思っている。
竹田委員	小学校 6 年生・中学校 3 年生に限らず、下の学年でも取り組むということか。来年になれば、今の小学校 5 年生と中学校 2 年生が学力テストを受けることになるので、どのように数字が変わってくるかを見たいというようなところか。 また、図や表を用いて表し方を工夫する等の部分に関しての対策としては、今までよりも更に強化してやっていくという趣旨か。それとも、これまでやっていることを継続してやっていくということか。

学校教育課主幹	教科の指導としては、教育課程に沿ってやっているのですが、総合的な学習の授業の際に、教科で学習したことを使う機会を増やしていけたらと思っている。 小学校1年生からみんなの前で発表する等様々な活動を積み上げていくことで、小学校6年生・中学校3年生になった時に、全国学力・学習状況調査の結果として表れてくると良いと考えている。
教育長	10 ページは、市全体で今十分でないところをこれからどうしていくかについてまとめています。 学校によって差がありますので、それぞれの学校で分析をした上で、それぞれの学校の実情に合った指導をこれから続けていくよう、学校に伝えています。
浅井委員	中学校3年生の「英語（話すこと）」で、下位層がとて多く、全国平均と同程度となっているが、これは、去年の中学校3年生の状況と比較してどうなのか。また、下位層が多いというのは、問題の出し方等に原因があるのか。
学校教育課主幹	5問の出題のうち、1問も正解しなかった生徒の割合が、全国で63パーセントという状況である。また、5問全問正解した生徒の割合は、全国で0.4パーセントとなっている。 しかし、学校訪問の際、英語の授業や特設授業等で、生徒同士或いは教師と生徒が英語で会話をするような場面を見たが、英語を話す力・聞く力が伸びていると実感する。個人的には、問題の難易度等に少し課題があったのではないかと思う。
向委員	昨年度は難易度にそれほど問題なく、違う結果だったのか。
学校教育課主幹	英語を話すことの調査は、今年度が初めてである。
河合委員	3ページと8ページの学習・生活習慣等の状況の【自尊意識】のところで、小学校6年生では良い点が4つ挙がっているが、中学校3年生では1つしか挙がっていない。

	「自分には、よいところがあると思う」という点が中学校では挙がっておらず、自己肯定感が下がっているのではないかと。小学校では、「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」という良い点が挙がっているが、中学校では挙がっていない。代わりに、中学校では「分かるまで教えてくれていると思う」という点が挙がっており、中学生になると現実的に色々なものが見えてきているのではないかと。思う。 自己肯定感を上げていただきたいので、注視して、今後指導を行っていただけると良いと思う。
学校教育課主幹	回答が 80 パーセントを超えたもののみを表記しているため、表記はされていないが、中学校 3 年生では 79.2 パーセントが「自分には、よいところがあると思う」と回答している。ただ、小学校 6 年生より中学校 3 年生のほうが「自分には、よいところがあると思う」と回答した割合が下がっているのは事実である。中学校 3 年生は、進路等不安な部分も多いと思うので、自己肯定感を上げていけるよう努めていきたい。
教育長	中学校 3 年生の国語については事務局で一部検討をさせていただきますと思います。検討し、一部修正をした段階でホームページに掲載することになります。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。 ○参考資料について
河合委員	講師発掘・登用事業で 1 件、公民館の短期講座で 2 件中止になっている事業があるが、人数が集まらなかったり体調不良の方が多くいたため中止になったのか。
文化・生涯学習課長	中止の理由を確認し、改めて回答します。

向委員	25 ページの名古屋大学連携講座について、開催場所が中央公民館とオンラインになっているが、ハイブリッド形式で開催されたということか。
文化・生涯学習課長	そのとおりである。
向委員	ハイブリッド形式は、企画する側にとってはとても大変だと思うが、障がいのある方や家庭の事情等で外に出られない方にとっては、Z o o mがあるとありがたいと思う。 今後、ハイブリッドでやるか否かという方針等は、どのように決めているか。
文化・生涯学習課長	なかなか外に出られない方もおり、また、自分が行きたい講座が必ずしも自宅近くの公民館で開催されるとは限らない。聞いていただける機会をできるだけ増やそうということで、リアルな講座・オンラインでのZ o o m・申し込みをした方だけが視聴できるY o u T u b eでの動画配信も進めていきたいと考えている。
向委員	とても素晴らしい取り組みだと思うので、今後も続けていただくようお願いしたい。
教育長	公民館の講座等が中止になった理由を確認し、次回の定例会で回答してください。
野外教育センター所長	前回の定例会でご質問いただいた、令和元年度のテントサイトの稼働率について説明します。 稼働率が高い理由としては、7月に2日間に渡り、「第24回世界スカウトジャンボリー」の準備会が当施設で開催され、テントサイトの全てをボーイスカウト団が利用したことが挙げられます。また、その他年間を通じてボーイスカウト団の利用が増えており、平成30年度の利用数が14張りのところ、令和元年度は159張りに増加しています。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和 5 年 12 月 15 日

教育長 水田 博和

署名人 向 文緒